

【地域包括支援センター】

地域包括支援センター（以下包括）では、市町村が設置主体となり、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種のチームアプローチにより、地域の様々な専門機関と連携しながら「医療・健康・介護・福祉・生活支援」等高齢者の課題解決を包括的にサポートする施設です。

昨年度に引き続き、三宅町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の重点施策でもある①「包括の相談業務機能強化（総合相談業務・出張相談業務）」②「認知症施策の推進（認知症施策業務）」

③「健康づくりの推進と介護予防の充実、強化（介護予防業務）」を強化し実施してきました。

（単位：千円）

実 施 事 業				予算額	決算額
I. 総合相談業務				106	101
1. 総合相談業務（強化）					
医療・健康・介護・福祉・生活等の相談対応を実施しました。					
総合相談延べ件数					
相談の内容	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
介護保険申請やサービス利用	452	385	492		
認知症や精神疾患	245	209	287		
高齢者の病気（在宅での見取りなども含む）や健康	298	166	143		
高齢者の権利擁護や虐待	183	106	129		
福祉サービス・民間生活サービス	8	20	21		
介護予防全般	436	127	338		
生活困窮	87	102	124		
ケアマネジャーへの助言や指導	301	279	263		
介護サービス事業所への苦情	38	44	39		
その他	44	79	96		
延べ件数（夜間休日対応数）	2092件 (140)	1517件 (64)	1932件 (29)		
下記のパンフレットを用い、周知を実施					
					

実 施 事 業				予算額	決算額	
2. 出張相談業務 (強化)						
高齢者が多く来所する年金振込日のATM付近や地域の公民館等へ出向き、総合相談対応や包括事業の案内、健康チェック等を実施しました。						
出張先	参加人数	実施日	内容			
三宅町まちづくりセンターMiMo (南都銀行ATM付近)	66	年金振込日 (偶数月) 4回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談対応 ・ 健康チェック ・ 血圧測定 ・ 骨量や体脂肪測定 ・ 握力測定 ・ 包括事業周知 			
石見	22	6/9				
伴堂	16	7/1				
伴堂2丁目	16	7/15				
小柳	12	7/16				
屏風	8	7/22				
上但馬	13	7/27				
東屏風	34	10/15・22				
但馬	24	11/27				
上但馬団地	12	12/1				
三河	5	12/8				
参加延べ人数	211人	延べ回数		14回		

実 施 事 業		予算額	決算額
II. 権利擁護業務		48	35
家族や医療・介護サービス等の支援だけでは生活が困難な状況にある高齢者を医療機関や警察、弁護士等の専門機関と連携しながら支援を実施しました。（下記は対応した内容を一部抜粋）			
対象者	項目	概要	支援結果と現状
80代女性	認知症	夫と死別後、物忘れが悪化「金銭を盗られる」等、被害妄想と易怒性悪化。精神科受診と入院支援、成年後見制度申し立て支援を実施。	認知症進行前に本人希望もあり、施設入所される。成年後見制度利用中。
80代女性	虐待	以前から夫婦仲の折り合いが悪かった。高齢になり、本人が家事や食事の支度が困難になるにつれて暴言や清潔な環境維持、食事の提供がされない状況となる。	穏やかな時間を過ごせるよう通所サービスと短期入所、本人の体調確認のため、訪問看護と定期的に見守り訪問中
70代女性	うつ病 認知症	夫と死別後、うつ病発症するが治療せず経過され閉じこもり状態となる、食欲低下し、自宅で倒れているのを発見し、緊急入院。認知症診断され、金銭管理や買い物や家事ができなくなり、理解力等も低下されていたため、成年後見制度申し立て支援を実施。	かかりつけ医からの訪問診療、訪問介護を受けながら成年後見制度利用中。
80代女性	介護放棄	親子関係が以前から折り合いが悪かった。本人が介護状態となるが介護放棄と自己管理不足により栄養状態悪化となる。	入院にて全身状態回復し、本人・家族希望にて施設入所中。

成年後見制度

高齢者虐待の分類

実 施 事 業			予算額	決算額
Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント業務			840	35
支援困難高齢者を担当しているケアマネジャーや関係専門職と連携し、助言や後方支援を実施しました。				
事業名	検討内容	実施回数		
自立支援型地域ケア会議	高齢者の様々な生活課題解決のため、情報共有と担当ケアマネジャーと専門職にて検討	5		
困難ケース型地域ケア会議	精神疾患がある50代息子と認知症の高齢者の生活や体調悪化時や緊急時の体制について担当者や多職種にて検討。	1		
Ⅳ. 認知症施策業務（強化）			60	20
認知症になっても、地域で生活できるよう、状態に応じて、必要なサービスに繋げたり、認知症の正しい知識を深め、地域での見守り体制を構築できるよう、サポーター養成講座を実施しました。				
事業名	参加人数	内容		
認知症サポーター養成講座（基本講座）	39	認知症の基礎知識と治療、サポーターの活動		
認知症サポーター養成講座（応用講座）	21	具体的なサポーター活動について（グループワーク）		
認知症サポーター交流会	6	実際に活動希望のサポーターが集まりどんなことができるかの意見交換会		

実 施 事 業		予算額	決算額
V. 介護予防業務 (強化) 介護予防業務とは→継続して介護も予防に取り組むきっかけとなるよう、リハビリ専門職を高齢者が集まるサロンや団体に派遣したり、介護予防教室を実施しました。		3,150	3,260
事業名	事業概要	実施回数	参加延べ人数
介護予防教室 (きらめきクラブ)	強度別に2コースを通年実施	52	1002
			有酸素運動・筋肉トレーニング・脳のトレーニング・口腔講座・栄養講座
事業名	事業概要	実施回数	内容
介護予防出張講座	団体が希望する講座を出張して実施	20	運動講座・口腔講座・栄養講座・脳のトレーニング・体力測定会・介護保険制度講習会
実 施 事 業		予算額	決算額
VI. 指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (ケアマネジャー業務) 要支援1・2の認定者で介護予防サービスの利用者に対してのサービス計画書の作成、定期訪問や電話での相談対応、生活上の助言を実施しました。		2,613	2,942
		令和4年度	令和3年度
介護予防サービス (デイサービス・訪問介護・福祉用具レンタル等) 月平均利用者数	82人	87人	80人
年間延べ利用者数	994人	1062人	955人
新規契約者数	34人	41人	32人